

教科名【体育】

児童の実態

- ・全体的に体育や運動が好きな児童が多い。
- ・放課後、習い事等でスポーツ活動に参加している児童が多いと感じる。しかし得意な内容と不得意な内容との差がはっきりしているので、運動能力のバランス面に改善が必要といえる。
- ・集団行動における規律や安全面への配慮に課題がある。
- ・運動経験の少なさや、昨年度の休業等やコロナ渦による運動時間の減少からか、基礎的な体力が不足している児童が多く見られる。
- ・また、上記の件から運動に対しての苦手意識をもってしまい、最初からやりたがらない、自信がもてないなどの様子がみられる。

授業革新推進に向けて

- ・一人一人がめあてをもって活動に取り組めるように、学習過程を充実していくとともに、自身の進歩や達成感を実感できるように学習カード等の工夫を行う。
- ・活動内容を吟味して場の工夫や運動量を確保するとともに、活動を通して身に付けさせたい力を明確にして運動経験の幅を広げていく。
- ・「1日60分の運動」を目標にして、休み時間の外遊びを奨励していく。
- ・ICTを積極的に取り入れて、自身の動きや友達との教えあいなどに生かし、体の使い方・動き方についてより理解を深める。